

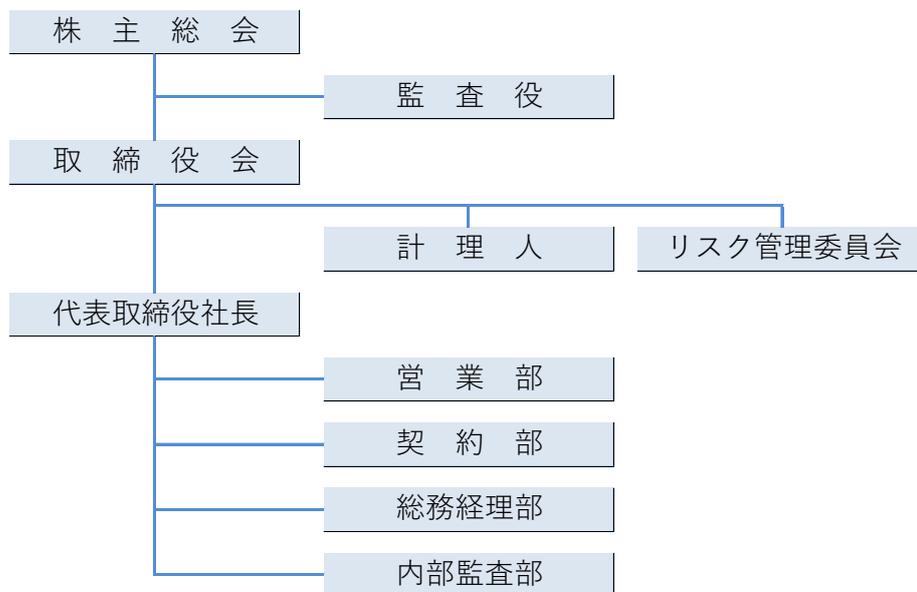
# あさひ少額短期保険の現状 2024

---

2023年度(令和5年度)決算

# I 当社の概況及び組織に関する事項

## 1 経営の組織



## 2 株主に関する事項

名称	持株数	持株比率
株式会社エクストリンク	4,000株	100%

## 3 会社役員に関する事項

氏名	地位及び担当
中本 和哉	代表取締役 総務経理部長・契約部長兼務
廣瀬 祐一	取締役 営業部長兼務
土田 育郎	取締役 内部監査部長兼務
石平 龍一	監査役

## II 主要な業務の内容

---

- 1 少額短期保険業  
通信端末修理費用保険の引き受け・販売
- 2 1 に付随関連する一切の業務

### III 主要な業務に関する事項

#### 1 直近の事業年度における業務の概況

物価の高騰に実質賃金の伸びがなかなか追いつかない状況ですが、日本経済もやっと復調の気配をみせつつあります。かつ、技術革新と大幅な規制緩和により、携帯電話端末をめぐる環境は一定程度の規模拡大が見込まれる状況にあるのではないのでしょうか。

このような情勢下、当社は、令和5年4月28日に営業を開始しました。

昨年度は、営業窓口再構築の影響により、当初見込みよりは若干下振れした引受となりましたが営業初年度としては、一定の成績を残せたのではないかと自負しています。

令和6年度はコンプライアンス等の体制整備とともに、より一層の成長を目指していく所存です。

#### 2 直近の事業年度における主要な業務の状況を示す指標等

(単位：千円)

項目	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	-	-	14,014
経常利益	-	△ 617	△ 10,971
当期純利益	△ 51	△ 822	△ 11,223
資本金の額	30,000	30,000	40,000
発行済株式の総数	1,000株	1,000株	4,000株
純資産額	29,948	29,216	27,902
総資産額	30,002	29,469	29,624
責任準備金残高	-	-	1,167
有価証券残高	-	-	-
ソルベンシー・マージン比率	-	-	2241.5%
配当性向	-	-	-
従業員数	0人	2人	2人
正味収入保険料の額	-	-	14,014

### III 主要な業務に関する事項

#### 3 直近の事業年度における業務の状況

##### (1) 主要な業務の状況を示す指標等

(単位：千円)

区分	2022年度	2023年度
正味収入保険料	-	14,014
元受正味保険料	-	14,014
支払再保険料	-	0
正味支払保険金	-	358
元受正味保険金	-	358
回収再保険金	-	-

##### (2) 保険契約に関する指標等

区分	2022年度	2023年度
契約者配当金の額	-	-
正味損害率	-	2.6%
正味事業費率	-	164.6%
合算率	-	167.1%
発生損害額及び損害調査費の 既経過保険料に対する割合	-	3.6%

##### (3) 再保険を引き受けた主要な保険会社等

区分	2022年度		2023年度	
	支払再保険料の割合	格付け	支払再保険料の割合	格付け
再保険会社				
再保険を行いません	-	-	-	-

### III 主要な業務に関する事項

(4) 経理に関する指標等 (単位：千円)

区分	2022年度	2023年度
支払備金の額	-	126
責任準備金の額	-	1,167
利益準備金	-	-
任意積立金	-	-
損害率の上昇に対する経常利益 又は経常損失の額の変動	-	132千円/1%

(5) 資産運用に関する指標等

① 資産運用の概況

内訳	2022年度		2023年度	
	金額 (千円)	総資産に対する割合	金額 (千円)	総資産に対する割合
現預金	17,044	57.8%	17,194	58.0%
金銭信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
運用資産計	17,044	57.8%	17,194	58.0%
総資産	29,469	100.0%	29,624	100.0%

② 利息配当収入の額及び運用利回り

該当事項はありません。

③ 保有有価証券の種類別の残高及び合計に対する構成比

該当事項はありません。

④ 保有有価証券利回り

該当事項はありません。

⑤ 有価証券の種類別の残存期間別残高

該当事項はありません。

4 責任準備金の残高

(単位：千円)

区分	普通責任 準備金	異常危険 準備金	配当 準備金等	合計
通信端末修理費用保険	746	420	-	1,167

## IV 会社の運営に関する事項

### 1 リスク管理の体制

契約者保護と業務の健全性・適正性の確保を図ると共に、顕在化しているリスク及び業務に内在している各種リスクを把握し、法令遵守の上、保険募集、契約引受、顧客保護、財務の健全性、保険計理及び商品開発に関わる内部牽制・統制の改善に努め、各種リスクを事前に予防する体制を構築しております。

### 2 法令遵守の体制

監査役制度の採用・内部監査部の設置により、法令遵守状況、業務活動の状況等に対する適正性を追求し、経営監視機能の強化に努めております。

「コンプライアンス規程」に従い、コンプライアンス・プログラムを実践し、法令遵守の強化に努めております。

### 3 指定紛争解決機関（ADR）

当社は、指定少額短期保険業務紛争解決機関である一般社団法人日本少額短期保険協会との間で、少額短期保険業務に関する苦情処理手続きおよび紛争解決手続き等の実施の為の手続き実施基本契約を締結しています。当社との間で問題解決のできない場合や、少額短期保険全般に関するご相談・苦情処理・紛争解決については「少額短期ほけん相談室」をご利用いただくことができます。

#### 一般社団法人 日本少額短期保険協会「少額短期ほけん相談室」

TEL：0120-82-1144

FAX：03-3297-0755

ご相談フォーム：<https://ws.formzu.net/dist/S23780034/>

受付時間：9：00～12：00 13：00～17：00

月曜日から金曜日（祝日ならびに年末年始休業期間を除く）

## V 直近2事業年度における財産の状況

### 1 計算書類

#### 貸借対照表

(単位：千円)

科目	2022年度	2023年度	科目	2022年度	2023年度
(資産の部)			(負債の部)		
現金及び預貯金	17,044	17,194	保険契約準備金	-	1,293
預貯金	17,044	17,194	支払備金	-	126
その他資産	-	275	責任準備金	-	1,167
前払費用	-	275	その他負債	343	428
繰延税金資産	-	-	未払法人税等	205	252
供託金	10,000	10,000	未払金	138	175
保険業法第113条繰延資産	2,424	2,154	<b>負債の部 合計</b>	<b>343</b>	<b>1,721</b>
創立費	-	-	(純資産の部)		
			資本金	30,000	40,000
			利益剰余金	△ 873	△ 873
			繰越利益剰余金	△ 873	△ 873
			当期純損益金額	-	△ 11,223
			<b>純資産の部 合計</b>	<b>29,126</b>	<b>27,902</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>29,469</b>	<b>29,624</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>29,469</b>	<b>29,624</b>

## V 直近の2事業年度における財産の状況

### 【個別注記表】

1. この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領に拠って作成しています。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による 低価法

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産 平成10年4月1日以後に取得した建物については旧定額法  
又は定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備  
及び構築物については定額法  
その他のものについては定率法
- ② 無形固定資産 法人税法の規定による定額法
- ③ 長期前払費用 支出の効果の及ぶ期間で均等償却
- ④ 少額減価償却資産 取得価額が30万円未満の資産については、一括償却処理  
しています。

#### (3) 引当金の計上方法

引当金を計上している場合は、次により計上しています。

- 貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について  
法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々  
の債権の回収可能性を勘案して計上しています。
- 賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計  
上しています。
- 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支  
給額により計上しています。

#### (4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### ① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。

##### ② 責任準備金の積立方法

(普通責任準備金の積立方法)

普通責任準備金は、次の A および B のいずれか大きい額としています。

##### A 未経過保険料

保険業法施行規則第211条の46第1項第1号イに従い、保険種類ごとに  
規定された方法で計算される額の合計額

##### B 収支残

保険業法施行規則第211条の46第1項第1号ロにより計算した額

(異常危険準備金の積立方法)

異常危険準備金は、保険業法施行規則第211条の46第1項第2号の規定に従う。

積立基準、積立限度及び取崩基準は平成18年3月10日金融庁告示第16  
号の規定に従い、保険種類ごとに規定されたとおりとしています。

## V 直近の2事業年度における財産の状況

---

### ③ 支払備金の積立方法

(普通支払備金の積立方法)

保険業法第117条の規定に従い計算される額としています。

(IBNR備金の積立方法)

実績により合理的に計上しています。

### ④ 保険業法第113条繰延資産の処理方法

保険業法第113条の規定に基づき、成立後の最初の5事業年度の間（令和5年3月期から令和9年3月期まで）に発生した事業費に係る金額その他内閣府令で定める金額を保険業法第113条繰延資産として計上しています。

保険業法第113条繰延資産の償却額の計算は、同法の規定に基づき成立後10年以内（令和14年3月期まで）に均等額を償却することとしています。

発生事業年度別残高（償却残年数：8年）

令和5年3月期分 2,154,933円

### 3. 貸借対照表関係

(1) 受取手形割引額	円
(2) 受取手形裏書譲渡額	円

### 4. 株主資本等変動計算書関係

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数	4,000	株
(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数	0	株

### 5. 一株当たり情報

(1) 一株当たりの当期純損失	2,805円 87銭
-----------------	------------

## V 直近の2事業年度における財産の状況

### 損益計算書

(単位：千円)

科目	2022年度	2023年度
	〔2022年4月1日から 2023年3月31日まで〕	〔2023年4月1日から 2024年3月31日まで〕
経常収益	0	14,014
保険料等収入	-	14,014
保険料	-	14,014
資産運用収益	0	0
利息及び配当金等収入	0	0
その他経常収益	0	0
雑収入	0	0
経常費用	617	24,985
保険金等支払金	-	358
責任準備金等繰入額	-	1,293
支払備金繰入額	-	126
責任準備金繰入額	-	1,167
事業費	617	23,064
営業費及び一般管理費	617	23,054
税金	-	9
その他経常費用	-	269
保険業法第113条繰延資産償却費	-	269
経常利益	△ 617	△ 10,971
税引前当期純利益	△ 617	△ 10,971
法人税及び住民税	205	252
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	205	252
当期純利益	△ 822	△ 11,223

## V 直近の2事業年度における財産の状況

### キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	2022年度	2023年度
	〔2022年4月1日から 2023年3月31日まで〕	〔2023年4月1日から 2024年3月31日まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー		
保険料の収入	0	12,785
再保険による収入	-	-
保険金等支払による支出	-	△ 358
解約返戻金等支払による支出	-	-
再保険料支払による支出	-	-
事業費の支出	△ 2,968	△ 21,787
代理店手数料収入	-	-
その他	-	-
小計	△ 2,968	△ 9,360
利息及び配当金等の受領額	-	-
利息の支払額	-	-
契約者配当金の支払額	-	-
その他	-	-
法人税等の支払額	△ 51	△ 205
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,019	△ 9,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	-
預貯金の純増減額 (△は増加)	-	-
保険業法第113条繰延資産の取得による支出	-	-
その他	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	-	-
借入金の返済による支出	-	-
株式の発行による収入	-	10,000
自己株式の取得による支出	-	-
配当金の支払額	-	-
その他	△ 10,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,000	10,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 13,019	435
現金及び現金同等物期首残高	29,778	16,759
現金及び現金同等物期末残高	16,759	17,194

## V 直近の2事業年度における財産の状況

### 株主資本等変動計算書

2023年度

(単位：千円)

2023年度 〔2023年4月1日から 2024年3月31日まで〕	株主資本					純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	30,000	-	△ 873	△ 873	29,126	29,126
当期変動額	10,000	-	△ 11,223	△ 11,223	△ 1,223	△ 1,223
新株の発行	10,000	-	-	-	10,000	10,000
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	△ 11,223	△ 11,223	△ 11,223	△ 11,223
当期変動額合計	10,000	-	△ 11,223	△ 11,223	△ 1,223	△ 1,223
当期末残高	40,000	-	△ 12,097	△ 12,097	27,902	27,902

2022年度

(単位：千円)

2022年度 〔2022年4月1日から 2023年3月31日まで〕	株主資本					純資産 合計
	資本金	利益剰余金			株主資本 合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	30,000	-	△ 51	△ 51	29,948	29,948
当期変動額	-	-	△ 822	△ 822	△ 822	△ 822
新株の発行	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-
当期純利益	-	-	△ 822	△ 822	△ 822	△ 822
当期変動額合計	-	-	△ 822	△ 822	△ 822	△ 822
当期末残高	30,000	-	△ 873	△ 873	29,126	29,126

## V 直近の2事業年度における財産の状況

### 2 保険金等の支払能力の充実の状況（ソルベンシー・マージン比率）

（単位：千円）

	2022年度	2023年度
(1) ソルベンシー・マージン総額	-	26,168
① 純資産の部の合計額（繰延資産等控除後の額）	-	25,474
② 価格変動準備金	-	-
③ 異常危険準備金	-	420
④ 一般貸倒引当金	-	-
⑤ その他有価証券評価差額(税効果控除前)(99%又は100%)	-	-
⑥ 土地の含み損益(85%又は100%)	-	-
⑦ 契約者配当準備金の一部(除、翌期配当所要額)	-	-
⑧ 将来利益	-	-
⑨ 税効果相当額	-	-
⑩ 負債性資本調達手段等	-	-
告示(第14号)第2条第3項第5号イに掲げるもの(⑩(a))	-	-
告示(第14号)第2条第3項第5号ロに掲げるもの(⑩(b))	-	-
(2) リスクの合計額 $\sqrt{[R1^2+R2^2]+R3+R4}$	-	2,334
保険リスク相当額	-	2,255
R1 一般保険リスク相当額	-	2,255
R4 巨大災害リスク相当額	-	-
R2 資産運用リスク相当額	-	171
価格変動等リスク相当額	-	-
信用リスク相当額	-	171
子会社等リスク相当額	-	-
再保険リスク相当額	-	-
再保険回収リスク相当額	-	-
R3 経営管理リスク相当額	-	72
(3) ソルベンシー・マージン比率 $(1)/\{(1/2)\times(2)\}$	-	2241.5%

### 3 有価証券または金銭の信託に関する取得価額または契約価額、時価および評価損益 （令和6年3月31日現在）

当社は、令和5年度末において、有価証券および金銭信託を保有していません。

### 4 会社法による会計監査人の監査

公共の縦覧に供する書類に書類について会社法による会計監査人の監査を受けていません。

## V 直近の2事業年度における財産の状況

---

- 5 金融商品取引法にもとづく公認会計士または監査法人の監査証明  
貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書について、金融商品取引法第193条  
の2の規定にもとづき公認会計士または監査法人の監査証明を受けていません。

# あさひ少額短期保険の現状 2024

2023年度（令和5年度）決算

## あさひ少額短期保険株式会社

---

近畿財務局長（少額短期保険）第12号

〒530-0057 大阪府大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビルディング16F

TEL. 06-7178-2222

URL. <https://asahi-ssi.jp/>